

平成 27 年 4 月 16 日

各位

株式会社エックスネット

平成 27 年 4 月 15 日発表「特別損失の計上および業績予想数値の
修正に関するお知らせ」に関する補足説明

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日の弊社に関する一部の報道におきまして、減損損失の対象となった国際会計基準（以下、IFRS）に対応した有価証券管理システム（以下、IFRS システム）の減損理由として「将来の需要が見込めないと判断した」との表現がなされております。

これに対して、弊社の見解を下記の通り補足説明させていただきます

今後とも弊社並びに「XNETサービス」へのご愛顧のほど、宜しく願い申し上げます。

敬具

記

弊社は、現段階においては IFRS システムの収益獲得時期が不透明であると判断し、会計原則に則り減損損失を計上いたしました。

しかしながら、今後、銀行業界での IFRS の適用が進めば、地方銀行における将来の IFRS システムの需要が見込まれ、その収益獲得可能性は十分にあると考えております。

このたびの減損損失については、あくまでも会計原則に則った財務体質の健全化を目的としたものであります。

以上